

にいがた

生涯学習ネットワーク

第13号
2022.1.31

この情報紙では、県内各地の社会教育活動を紹介していきます。

編集・発行：新潟県生涯学習協会 調査・広報委員会
*「にいがた社会教育」から数えて453号になります。

〒950-8602 新潟市中央区女池南3丁目1番2号 新潟県立生涯学習推進センター内
TEL・FAX : 025-250-0121
E-mail : syakyo56@feel.ocn.ne.jp URL : <http://www.niigata-lla.com/>

地域で子どもを育む活動をはじめよう！

- | | | |
|---------------------|---------------------------------|--------|
| ●さあ、始めよう！ | 新潟県生涯学習協会事務局長 田原 理 | [1ページ] |
| ●新たな自分と出会う④ | 相馬盛之助さん（新潟市） | [2ページ] |
| ●活動メニューは盛りだくさん！ | 新潟県少年自然の家 | [3ページ] |
| ●地域で育む地域の子ども | 三条市旭地区子ども会育成会 | [4ページ] |
| ●公民館も出番です！ | 糸魚川市下早川地区公民館 | [5ページ] |
| ●活躍する NPO | NPO 法人 Tap ^{たっぷ} （津南町） | [6ページ] |
| ●思いがあれば「地域の居場所食堂」開店 | 「だれでも食堂 のうごごち」（糸魚川市） | [7ページ] |
| ●活動を始めたい皆さんへ「耳より情報」 | 県の「ラ・ラ・ネット」への登録案内 | [8ページ] |

さあ、始めよう！

「子どもは国・地域の宝」と言われ続けて久しいが、現在、活動が活発で地域に根付いているところと成果が上がらず苦慮しているところに分かれている。

行政やNPO団体等をはじめ「地域で子どもを育む活動」は数多く取り組まれているが、成果が分かれるのはどのような理由があるのだろうか。

学校は、コミュニティ・スクールや地域学校共同本部の設置など地域と結びついて多様な学習を展開しているが、その展開や成果には学校によりかなりのばらつきがあるのが現状であろう。

学校と地域との連携を狙いに「地域教育コーディネーター」を各校に配置してきた。この制度の発想は大変良いのだが、成果を上げている事例はあるものの苦戦しているコーディネーターが多い印象がある。コーディネーターとして優秀な人材は、地域の実情に詳しいことはもちろん地域の各種団体とのつながりができるなど求められる資質はハイレベルである。特に難しいのは、学校と職員の考えを地域連携につなげることである。事業のアイデアも豊かで人を呼び込むし

かけや気軽な声掛けができることも必要である。学校は依然として学力向上である。学力テストで到達度を公開し競いあっている学校を地域連携に目を向けさせるのはとりわけ難しい。生活指導では持ち物や下着の色まで規定して子どもは活動の味わいや余裕がない状態の学校も多いのではないか。

このような現実から解放されて、豊かな発想を持ち困難を乗り越える力をつけさせられるのは社会教育しかないとと思っている。学校では地域に子どもを出す勇気を担当者やリーダー（校長）に持って欲しい。子どもが学校から出て、あるいは校内活動で地域活動に参加することを関係団体は待っている。

現在、当協会では県教育委員会からの委託を受け県内市町村に「地域で子どもを育む活動」の啓発と指導者のネットワーク拡充のための訪問を行っている。社会教育からのアプローチにもろ手を挙げて歓迎する双赢の関係でありたい。

（新潟県生涯学習協会 事務局長 田原理）



新たな自分と出会う④



子どもたちの応援が生きがいに

人生100年時代。リタイア後の長い時間の過ごし方、最期まで自分らしく生きることが課題になります。このコーナーはセカンドライフを楽しく活動している方を紹介しながら、後半人生のあり方を考えていきます。

第四回目に登場する方は、新潟市の相馬盛之助さんです。相馬さんは小・中学生を対象にした学習支援の場で活動をしています。子どもたちに向き合い、学習を通してその成長を応援する姿は生き生きとしています。

5始
年前
まりは

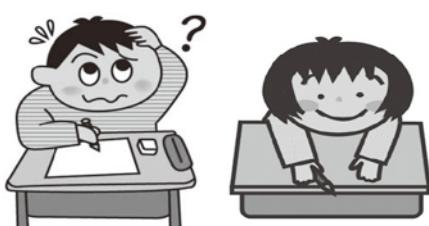
商社マン志望だった相馬さんは、その道でなく公務員として定年を迎えました。パートナーが先行して県の人才バンク（ラ・ラ・ネット）学習支援ボランティア「市民先生」に登録し、小学生を対象にした新潟市内の公民館の「子ども学習室」で活動を始めていたこともあり、「市民先生」の仲間入りをしました。



その後

最初は勉強を教えようと肩に力が入っていた様子が、子どもたちとコミュニケーションが上手く取れるにしたがい表情が変わり、子どもたちの傍らで会話を楽しみながら一緒に考える姿になりました。誰から指導を受けた訳ではなく、自ら変容を遂げたのは、子どもたちと、学習支援ボランティアの仲間たちの存在でしょうか。

そして、活動の幅が広がり、中学生の学習支援にも関わるようになりました。「中学生の学習支援は難しいが、一緒に考えることは楽しい」と話します。



いま

今年度から、地元小学校で教員の印刷や消毒等の雑務をサポートする「学校事務支援員」として働いています。子どもたちを応援する活動を広げ、充実した毎日を過ごす相馬さんに、今日も子どもたちから声がかかります。

学習支援活動が、相馬さんに新しい世界と出会わせてくれました。

掲示板

平山征夫さんエッセイ集発刊!

『終列車出発す!しゃべっちょ古稀からの独り言』

多方面で人生を送ってきた元新潟県知事が、老境に差し掛かって、ふと漏らした独り言。少し笑えて少し優しくなる人間味溢れる人生観の数々を“終電車”と一緒に味わいませんか。自身のイラスト画も収録。

書店にて絶賛発売中! 1,600円(税別)

新潟県少年自然の家

胎内市

活動メニューは盛りだくさん！

① カヌー

穏やかな流れの胎内川でパドルを握って川を上れば、プチアドベンチャーワールド。利用希望が多く、早めのご相談をお願いします。

6月～9月末日

③ オリエンテーリング、フォトオリエンテーリング、ウォークラリー、野外ワイドゲーム

赤松林で気持ちいい森林浴のひと時です。

積雪期休止

⑤ インドアアスレチック等の館内ゲーム

令和元年竣工の広くきれいな館内(県内産杉を使いCLT工法で建築)で、ゲームをしたり歩き回ったり。

通年可能

⑦ 餅つき、うどん打ち、ピザ作り

楽しく作っておいしく食べれば仲良く楽しく絆が深まります。



10月～翌年5月末

⑨ 楽しいレクリエーション活動



広い多目的ルームや体育館で、所員の進行で楽しいレクリエーションやブチ体力づくりができます。

10月～翌年5月末

活動をサポートする 県の社会教育施設

～皆さんご利用をお待ちしています～



② 野外炊さん



きれいな赤松林の野炊場で楽しく調理、おいしく食べれば心も踊る好日です。

4月～11月末日

④ グラウンドゴルフ

今年オープンの芝生広場で思う存分プレーできます。利用希望が多いので早めのご相談をお願いします。道具は完備。

通年可能（冬期間は館内）

⑥ 焼き杉板、壁飾り等の創作活動

じっくり作る体験活動もお手の物。所員の指導で、どなたも素敵な思い出の作品が出来上がります。

通年可能

⑧ 出前講座

所員がご希望会場へ出向いて、出前レクリエーションや出前クラフト活動でお手伝いします。

10月～翌年5月末

部活動の合宿所、
企業の研修会場
としても好適です。

ご存知ですか！

当施設は「少年」だけでなく、「体験学習や生涯学習を希望する5人以上のグループ」ならどなたでも利用いただける施設です。

申込み・問い合わせ

新潟県少年自然の家

〒959-2602 胎内市乙1503番地166

TEL 0254(46)2224 • FAX 0254(46)3070 E-mail : ngt503060@pref.niigata.lg.jp

新潟県少年自然の家 所長 佐久間義久

旭地区子ども会育成会

三条市



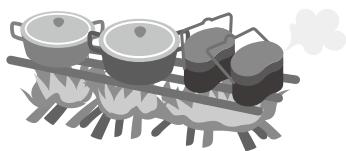
地域で育む 地域の子ども

旭地区子ども会育成会は、30年以上の歴史のある会です。当時PTAの三役・地区幹事の方々がPTAを卒業と共にわずか10名で立ち上げられました。今現在では、90名以上の会員が在籍しています。そして、会員の中には保護者の方もいますが、運営のほとんどはOB・OGのみなさんが担っています。今では立ち上げ当初子どもだった子が親になり、会のメンバーとして一緒に活動をするようになりました。

主な活動は年に2回夏と冬の大イベントです。

夏

にはサマーキャンプをして魚のつかみ取りやペットボトルロケットを作ったり、夕飯は6年生が飯盒でご飯を炊きカレーと豚汁を作ります。宿泊可能な4年生になることを楽しみにしている子もいます。



サマーキャンプ 魚のつかみ取り



冬

には雪遊び、木工細工などをし、メインに石臼で餅つき子供と保護者に楽しんでもらい、その後でつきたての餅と会のメンバーと保護者で作った、鴨汁・豚汁をみんなと一緒に食べます。特に鴨汁は子どもたちには大好評です。



冬は木工教室



つきたての餅と
おいしい鴨汁、豚汁が待っている!

こうしたイベントの中で子どもたちとの交流と信頼を深め、そのたびに子どもの笑顔に力をもらっている感じが毎回しているようではありません。私は先輩方が立ち上げ引き継がれてきたこの会を、これから若い保護者の方々に教え引き継いで、今の子どもたちより未来永劫まで続いて行って欲しいと思っています。

私たちは、これからも地域の方々や保護者と共に協力し合い、旭地区の未来の宝の子どもたちを育て、見守り続けていきたいと思います。

三条市 旭地区子ども会育成会 会長 酒井 正晃

糸魚川市 下早川地区公民館

公民館も出番です！

地域で子どもを育てる

糸魚川市下早川地区公民館は、糸魚川市街地から東5km程に位置し、周囲を山に囲まれたのんびりとした農村地帯です。世帯数は724戸、人口1,867人で高齢化が進んでいる地域もあります。

平成18年から市の委託により、小学生を対象に水泳教室やグラウンドゴルフを行ってきましたが、現在はスポレック・バドミントン・ビーチバレーの3種類のスポーツを行っています。

今年はこの3種類のスポーツ教室に加えて、夏休み期間中に寺子屋教室を計画してみました。寺子屋教室の内容は、公民館をいつでも使えるフリータイムを軸に学習タイム・ドローンを飛ばそう・カレーを作り食べよう・竹とんぼを作ろう・そして夏休み最後のお楽しみ会などを行いました。



牛乳パックと竹で竹とんぼ作り



カレー作りに一生懸命な子どもたち

この事業は、「公民館が子どもたちに何ができるかを考え、子どもたちが夏休み期間中充実した日々を過ごせるようにとの思い」で始めました。

夏休みの最後になって宿題が残ってしまう子ども、遊びたいけど中々友達の家に行けない子ども、コロナ禍で外出できない子どもたちの思い出作りのために、教員経験豊富な方や遊びの達人に指導をお願いしました。

初めての事業のため多くの反省点がありましたが、良かったのはカレー作り、竹とんぼ作り、最後のお楽しみ会は盛況でした。



人口減少とともに4人に、高齢化が進んでいる地域の中で保育園児・小学生・中学生・高校生は特に大切な存在です。

公民館と子どもたちそして親御さん。このつながりを軸に地域を再確認し、地域を活性化させ、地域とともに子どもたちが元気に育つことを願っています。

そのためにも保育園・小学校・中学校と連携をとり、地域一帯となった子どもたちとの接し方を考えていきたいと思います。

糸魚川市下早川地区公民館 杉本光廣

NPO法人Tap

津南町

活躍するNPO

放課後活動支援事業 この指と一まれ!

日本有数の豪雪地域として知られ、1年を通して自然豊かな津南町においても少子化や不審者問題等により小学生が安心して遊ぶ場所が減少しています。また、近所に遊ぶ友達がいなく、家の中で遊ぶことが多くなっているのが現状です。外遊びが減少し、児童の体力も低下傾向であることから、主に放課後の時間を活用し、思い切り体を動かし、遊びを通じて仲間づくり・体力づくりができる場の提供を目的に活動が始まりました。

主催は津南町が主体となり組織する「いきいき大好き津南町推進委員会」です。企画、運営などはNPO法人Tapが事業を受託して実施しています。

主に月曜日の放課後、町内にある3つの小学校から津南町総合センターに集まり、一緒に遊びを楽しみます。

ここ数年は外遊びに特化して活動を行っています。「体験実習館なじよもん」に行き、ほうの木の葉を使った風車作りや、近くにある中学校のグラウンドを借りて活動をしています。暑い夏は、中津川へ歩いて行き、川遊びを楽しみます。冬は何といっても雪遊びです！

この活動が始まった頃は、何をして遊べばよいか分からず、様子をうかがう子が多くいましたが、次第に自分たちで考え工夫し、友だちと関わりながら遊ぶ様子が見られるようになりました。

仲間と密に係わりを持ち、様々なことを体験してきた「この指と一まれ！」でしたが、新型コロナウィルス感染症の流行から、活動中のマスクの着用、手指の消毒など、感染症を予防するために様々な配慮が必要になりました。

そんな環境ではありますが、「この指と一まれ！たくさん遊ぼう！」を合言葉に、明るく！逞しく！子どもたちのキラキラした笑顔があふれる町、津南と言つていただけるよう、この事業に関わる大人も真剣に子どもたちと向き合い、活動を続けていきたいと思っています。



新型コロナウィルス感染症流行前の
活動写真です



だれでも食堂運営団体 「のうごこち」

糸魚川市

一人ひとりが安心して 過ごすことができる場を

地域の誰もが参加できる子ども食堂のようなアットホームな居場所を目指し、地域の方やボランティアの皆さんと協力しながら「だれでも食堂」を運営しています。

「みんなが安心できる居場所づくりがしたい」という思いを共有した仲間と一緒に、平成31年2月に任意団体「のうごこち」を立ち上げ、同年3月から糸魚川市能生商店街の中にある集会所で「だれでも食堂」を月に1回始めました。



「だれでも食堂」では大人300円、子ども無料で昼食を提供しています。現在は新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見合せれる月もありますが、1回の食堂で30名から多いときで50名程の参加があります。近所の方や高齢の方の参加が多く、子どもたちが過ごす様子も会場全体で温かく見守ってもらえる雰囲気があります。

いずれは日常的な居場所づくりができたらと思いますが、まずは月に1回でも、能生の中で安心して気楽に寄れる場づくりを続けていきたいなと思っています。

食堂で使用する食材等は、活動に賛同してくださっている地域の方やフードバンクじょうえつ様より提供していただいています。その他活動にかかる資金は、市の補助金や寄付金でまかなっています。献立作成から当日の調理、会場の設営や運営等は、ボランティアの方々に協力いただいています。本当にたくさんの方の温かなご支援ご協力があっての「だれでも食堂」です。感謝してもしきれません。



だれでも食堂 運営団体 のうごこち 滝川翔子

➤編集長のつぶやき

あたらしい年を迎えると、大半の人は、今年こそはと数日思うそうです。この数日というのが良いですね。その証拠に新しい日記帳の大半は、桜が咲くころにはどこに置いたかわからなくなるらしいです。これはこれでよいのではないでしょうか。子どもはまだしも、大人があまり決意、覚悟、必死になると周囲に迷惑をかけるので。人生、人に迷惑をかけるのが一番いけない。

わが事務所は三団体の寄り集まりオフィス。先日、日報の「声」でシルバーシートについて投書があり、「シルバーシートに座って良い年齢は何歳からか」をめぐって65歳以上からだとか、いやいや70歳までは意地でも座らないなどと賑やか。一方、若者に席を譲られたらどうするか、素直に座るか、断るか、これは時折テレビドラマにも登場する場面です。意地でも座らない人は譲られても座らないということではないでしょうか、少なくとも席を譲る若者に感謝とその勇気に応えられるシルバーでありたいと思います。

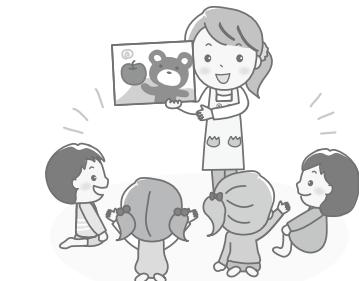
私? 楽をしたいのですぐ座ります。(田原)

思いがあれば 「地域の居場所食堂」開店



三 活動を始めたい皆さんへ 三

耳より
情報!



あなたの情報を新潟県生涯学習推進センターが運用する生涯学習情報提供システム“ラ・ラ・ネット”指導者情報の「市民先生」に登録しませんか。「市民先生」には子どもの体験活動や学習を支援する皆さんの情報が集まり、団体や市町村からの紹介要請で条件が合えば活動につなげることが可能です。

いま、団体や市町村の活動現場では、皆さまの力が必要です。資格や経歴を問わない活動も多くあります。あなたの気持ちを登録で生かしてみませんか。

ラ・ラ・ネットへの登録方法について

- 登録用紙「指導者情報調査票」に記入し、県立生涯学習推進センターに郵送してください。(個人情報取り扱いのため押印が必要です)

_____ 公開情報項目 _____
在住市町村、氏名、生年、あれば資格・経歴、主な指導内容、指導対象、指導できる地域、指導可能曜日、指導時間、指導条件、特記事項、費用、費用の内訳特記事項

- 登録方法は二通りから選択できます。
 - ・インターネット上に連絡先以外の情報が表示される登録
 - ・インターネット上に情報が表示されない登録
- 登録用紙のダウンロードは「ラ・ラ・ネット」トップページ「センターからのお知らせ」の一覧へから入ります。(詳細は左記参照)

登録に関わる申込み・問い合わせ

新潟県立生涯学習推進センター

〒950-8602新潟市中央区女池南3-1-2

TEL 025-284-6110

FAX 025-284-6019

E-mail : nlpc@mail.lalanet.gr.jp

賛助会員

~私たちは、新潟県生涯学習協会を応援しています~